L			を養うことができる。				
Γ	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 字拠	第6章 高高等の加工 ・数報の加工 ・数報の加工 ・参車を ・ 単一 ・ 単一 ・ 一 ・ 一 ・ 一 ・ 一 ・ 一 ・ 一 ・ 一 ・	○穀類の加工特性について振り返 ○小乗約の加工特性についてグル マンを重点的に受かます。 マンを重点的に受かます。 は、手作りによる加工特性につい でその違いについて理解をせる	「知識・技術」 の製の機能とグルテンの形成、特徴について用格している。 江西本・町本・大田の一様を加工と手作 日本本・サービスを表現ない間の機能加工と手作 りによる場所について食物の濃いがなぜ起こ のを発展していて、できなの濃いがなぜ起こ のを発展している。 日本体的について、まなの間が変化。 日本体的について、まない。 日本体のであれる。 日本体のであれる。 日本体のである。 日	0	0	0	5
	確認テスト①			0	0		1
	○大豆の製造方法とその加工特性について選解し、その利点について選択し、その利点について説明できるようにに向かう力、人間性等 「単近に向かう力、人間性等」 へ、その特徴について話し合う	○国部の権額とかの成分権政について受かった。 でなる。加工を出こいで、製造は と加工権性を学ぶ。 の互献についてその成分特性と軽 図の原理について学ぶ	【知識、技器】 近望の個類を成分の意い、特徴について理 の正義の金額原理について理解している。 日本・明神・東京を受けている。 日本の中では、大きないのでは、その利点に これで表現りできている。 日本的にからない。 ですることができる。 ですることができる。 ですることができる。	0	0	0	4
	第6章 農産物の加工 の いち間の加速とその加工品 の したに の 加速をできまった。 では、 に加速なび速と に加速なび速と に加速なび速と がある。 では、 にかせかが散を容積性があった。 では、 になり、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には	い・養物或を帰載とついて守ぶ のい・毎期か加え品について製造 扱ら加工特性について学ぶ ○こんにやくいも	「知識、技能」 にいり無の情報と成分、特徴について理解してい にいり無の情報と成分、特徴について理解してい 「思考・開本・高ない」 に参す、明本・高ない にありません。 において説明できない。 において説明できない。 において説明できない。 にはいている。 にはいている。 にはいていてのできない。 にはいている。 にはいないる。 にはいないないる。 にはいないないる。 にはいないる。 にはいないる。 にはいないる。 にはいないないる。 にはいないないないないないないないないない。 にはいないないないないないないないないないないないないないないないないないないな	0	0	0	4
	展設テイツ 高・京 素のの加工 4、財産額の加工 4、財産額の加工 1の開発制の仲間を表示の加工品 20億円 かり 10世級を行動としても多を理解する。 の財産制の分類とそのを主張をしていることを理解する。 の対策制の必要がある。 の対策制の必要がある。 の対策制の必要がある。 12巻を判断していることを理解する。 12巻を刊からかによる中 12巻を刊からかによる中 12巻を刊からかによる。 12巻を刊からかに表明できる。 12巻を刊からかに表明できる。 12巻を刊からかに表明できる。 12を10年間に基本的を表示のでは、 12年に関わらかを関すできる。 12年に対象が、20世紀による時できる。 12年に対象が、20世紀による時できる。 12年に対象が、20世紀による時できる。 12年に対象が、20世紀による時できる。 12年に対象が、20世紀による時できる。 12年に対象が、20世紀による時できる。 12年に対象が、20世紀による時できる。 12年に対象が、20世紀による時できる。 12年に対象が、20世紀による時できる。 12年に対象が、20世紀による時できる。 12年に対象が、20世紀による時できる。 12年に対象が、20世紀による時できる。 12年に対象が、20世紀による時できる。 12年に対象が、20世紀による時できる。 12年に対象が、20世紀による時できる。 12年に対象が、20世紀による時できる。 12年に対象が、20世紀による時できる。 12年に対象が、20世紀による時できる。 12年に対象が、20世紀による時できる。 12年に対象が、20世紀による。 12年によるが、20世紀によるが、20世	○野麦類の分類について学ぶ ○野菜の情報」その成分構成について学ぶ ○ごはからである。 ○ごはからである。 ○ごはからないで学ぶ ○いて学ぶ ○いて学ぶ ○いて学ぶ ○いて学ぶ	「知識・技術」 「新築の関係と成分、特徴について理解している。 「日本のではないてその特徴と利用方法を理解している。 「日本の・川本・表別」 「アントンアニンのリようについてそのp 申特 住を期所でまている。 「主体の実際に取り組を鑑賞」 「主体の実際に取り組を鑑賞」 いて考える」とかできる。	0	0	0	6
2 字 期	第6章 高差勢の加工 ①果実現の加工 ①果実の特徴 「加減及けば能」 ○果実期の分類とその名称を理解す ○果実期の分類とその名称を理解す ○果実期の分類とその名称を理解す 「思考」の分類とその名称を理解す 「思考」の分類とその名称を理解す で、実現に含まる。 「思考」の表現について理解 で考え限明できるようになる。 「マビに向かう人、人間性男 「マビに向かう人、人間性男 ・その特徴にいいて話し合う。	○果実棚の分類について学ぶ ○果実棚の機類とその成分構成に ついて学ぶ	知識・技器   公衆美郷の増集と使か、特徴について世解している。 思美郷の増集と使か、特徴について世解している。 [思考・明斯・表現] ○東美郷の加工品の仲化と理解し、その利点 「主体的に今部に取り削りを贈復 ○自ら果実施の加工食品を調べその特徴について考えることができる。	0	0	0	4
	確認テスト③ 第6章 農産物の加工	○ジャム類の加工特性とその製造	【知識·技能】	0	0		1
	■ 果実施の加工 ②学す本料 ②学す本料 ③果実施料 は「単純及では強! 1 知識及では第! 1 知識及では第! 1 知識及では第! 1 記書・報節コエキ料性について設 間できるようになる 日では、日本の対点があった。 日では、日本の対点があった。 日では、日本の対点があった。 「学びに向かり、加工品について関 ・その特徴について話し合う。	について学ぶ の果実教科の加工特性とその製造 法について学ぶ のごまりでが、加工特性とその のごまりでは、 の電機学業の加工特性とその 製造 法について学ぶ	○展集館の加工特性について開札している。 日参・判断・光の ○展集館の加工品の特性を開催し、その利点 について開門できない。 日本的のに発生に対している。 日本的のに発生に対している。 日本的のに発生に対している。 日本のでは、 日本のでは 日本のでは 日本のでは 日本のでは 日本のでは 日本のでは 日本のでは 日本のでは 日本のでは 日本のでは 日本のでは 日本のでは 日本のでは 日本のでは 日本のでも 日本のでも 日本のでも 日本のでも 日本のでも 日本のでも 日本のでも 日本のでも 日本のでも 日本のでも 日本のでも 日本のでも 日本のでも 日本のでも 日本のを 日本のを 日本のでも 日本のを 日本のを 日本のを 日本のを 日本のを 日本のを 日本のを 日本のを	0	0	0	5
	第7章 畜産物の原工 ・ 申報の加工 ・ 申報の加工 ・ 申報の加工 ・ 自動の成分を加工特性 ・ 企業内の加工 ・ 日本 ・	の内部の機器とその成分、加工特 位について等か。 〇部向に加工される機 影明にな るまでの工程といいである。 ○歌向の総立とその加工特性について守が、 予加工品について守ぶ	「知識・技蔵」 の構の成分、参雑について無解している。 の解析にない。 18.5%・期間・大切 18.5%・期間・大切 18.5%・期間・大切 18.5%・期間・大切 18.5%・期間・大切 18.5%・対し、特性に合わ が本態温について無可ささいる。 「主体的に空間に取り組む態度」 のと向場面が正常圏へその特徴につい で考えることができる。	0	0	0	5
3学期	機能アメトは 第7章 高度物の加工 1 内閣の加工 2 内閣の加工 2 内閣の加工 2 加減及び状能 2 円 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元	○動内に加工される種と商内になるまでの工程について学ぶ の場内の部とその加工特性について学ぶ いて学び、各加工品について学ぶ	【知識・技能】 の動物に加工される種類とその流感について に影響に加工される種類との流感について 「思考・物味・表現】 の加工部位ごとの特性を振り、特性に合わ せた製造品について説明できている。 〇百ら時期の加工生品を嵌べその特徴につい で考えることができる。	0	0	0	4
	第7章 高部部の加工 ②中級の超分と加工特性 ②中級。 ③を開業、表級函数分と加工特性 ②中級。 ③を開業、表級函数分 ③リカム・バラー 「加級なびは動していて選解する。 ○リカム・バラー 「加級なびは動していて選解する。 「表表の動していて選解する。 「表表の動していて選解する。 「表表の動していて選解する。」 「表表の動していて選解する。」 「本表の動していて選解する。」 「本表の動していて表現する。」 「本表現する」が、大脚で表現る。 「本表現する」が、大脚で表現る。 「本表現する」が、大脚で表現る。 「本表現する」が、大脚で表現る。 「本表現する」が、大脚で表現る。 「本表現する」で、「大脚で表現する。 「本表現する」で、「大脚で表現する」で、「大脚で表現する。 「本表現する」で、「大脚で表現する。」 「本表現する」で、「大脚で表現する」で、「大脚で表現する。 「本表現する」で、「大脚で表現する。」 「本来表現する」で、「大脚で表現する」で、「大脚で表現する。」 「本来来来来来来来来来来来来来来来来来来来来来来来来来来来来来来来来来来来来	中等の成分機能と種類、その加工特性という工作を 工作を出いた加工品についてその製造法と加工特性について学ぶ の弊適法と加工特性について学ぶ	知識・技術型 の未の必成の、神能について無難している。 の未の心臓性と縁かかり最近になるまでの液 減について開催した場合。 1 思考・訓練・大規一 に思考・訓練・大規一 のまついて適用であります。 は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	0	0	0	6
	確認テスト⑤			0	0		1
							合計
L			<u> </u>				48